

# 回 覧

# と き と り 桃 花 鳥

佐渡市立新穂小学校



ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>  
E-mail [niibo-es@sado.ed.jp](mailto:niibo-es@sado.ed.jp)

第385号  
平成28年12月20日

## メディアとどう付き合うか

校長 香遠 正浩

保護者・地域の皆様のご協力により、充実した80日間の2学期が終わろうとしています。もうすぐ子どもたちが楽しみにしている冬休みです。今年は暦の関係で例年より長く18日間もあります。

12月9日、学習参観日の「トキっ子を語る会」では、どのグループからもメディア機器使用の話題が出されました。約束を決めて実行できている家庭がある一方、時間を守らせられず困っている家庭もあるようです。

テレビやゲームに加え、今はインターネットもあり、生活に支障が出るほど夢中になってしまいそうな環境となりました。そのような現代社会で育つ子ども（大人も）に、他人が一方向的に制限を加えても聞き入れるとは限りません。自らメディア使用の時間等をコントロールする力を付けなければなりません。

11月22日、新穂PTA協議会と新穂地区青少年健全育成協議会の共催で教育講演会を実施しました。講師の創風システム様から、県内のネットトラブルの現状をお聞きし、未然防止が課題であると認識しました。講演の中で、ネットトラブルを防止するために「保護者がしなければならないこと」として、次の4点をあげていました。

- インターネットへの接続は保護者の責任であること。
- 買い与えた電子機器をネットに接続する必要があるかどうか、親子で話し合うこと。
- 電子機器は子どもに貸しているというスタンスで与えること。購入費も通信費も保護者が払っているのだから。
- 親子できまりを作り、掲示するなどして常に意識させること。

当校では今年度、メディア使用に関する自制心を育むために、子どもに自分で「時間」と「達成する方法」を決めさせて取り組んでいます。

冬休みに入る今、改めて各家庭でメディアの時間や使い方の現状を振り返り規則正しい楽しい年末年始を過ごしてほしいと願います。

今年も新穂商工会が設置してくださった素敵なクリスマスイルミネーションが、日暮れ後の学校周辺を優しく照らしています。ありがとうございました。

